創世記18章16節~19章29節

文責：ツ

書記Ｓ

【前回の復習】

自分のもとにやってきた三人の人を（A）は丁重にもてなした。彼らは（B）に対して「　　　　　　　　　　　　　　　」という内容の予言をする。それを聞いた

（B）は笑ったが、(\*＾▽＾\*)う（B）に対して主はなぜ笑うのか、と言った。

～登場人物～

A：アブラム

B：サラ

C（AとBの子）：イサク

ハ○○：ガル

イ○ュ○○ル：シマエ

感想

Ｓ：神はドライ

Ｔ：ロトが娘をふつうに差し出しているのがひどい

ハ：部分的に表現も違いがある

ケ：見知らぬ人を掘りたくなる気持ちが分からない

【概要】

ソドムが滅亡する話。ソドムを滅ぼすという主に対してアブラハムは疑問を持ち、全てを滅ぼすことはあんまりなのではないかと言う。しかしソドムは御使いに正しい対応をしてロトの家族を除いて滅ぼされてしまう。

【18章】
**Q：地図から見て、ソドムはどこ？**


Ａ＞６

**Q：「ソドムの罪は非常に重い、」（18－20）とあるが、どんな罪？**

A：ハ：偶像崇拝

ケ：性的な乱れ

【19章】

**Q：ロトって誰？どんな人？**
A：マ：アブラハムの甥

**Q：「酵母の入れないパンを焼いて～もてなした。」（19－3）とあるが、酵母なしなのはなぜ？**

A：ハ：時間をかけないため

**Q：娘を差し出したロト、非道くないか？**

**A：五普通にひどいよね、向こうが悪いのに・・・娘をみずから差し出すのはおかしい**

**ケ：現代人と当時の人の女の認識の違いが表れている**

**Ｔ：ロトが２人を御使いと知っていたのか、それとも一般人として認識していたのか？その行動はどういう認識のもとで行われていたのかが重要になってくる**

**ツ：ロトは知っていたと思う

Q：「こいつはよそ者のくせに、指図などして。」（19－9）とあるが、ロトってどこから来たんだっけ？**A：ハランから旅立ちアブラムと別れた

**Q：ロトはなぜためらったのか？（19－16）**
A：Ｓ：単なる愛着

マ：見殺しにすることをためらった

ツ：自分の役目はソドムの人々をただすこととかんがえていたから

Ｑ何故振り向いていけないのか

・振りむきのタブー

・試している

・振り返ることによる事実の実現

・等価交換

山本先生：妻はソドムの人々に後ろ髪をひかれてしまった。生き残った人々(戦争や震災)の心理状況である喪失感に類似した感情からくる行動

**Q：なぜ振り向いてしまったのだろうか**A：地元の人々への思い、神への多少の不信感から起因する

**Q：「塩の柱」（19－26）ってなに？**

A：

ケ：岩塩の国だから

**Q：「神はアブラハムを御心に留め、」ってアブラハムの行いっていうよりもロトの行いが良かったからロトが助かったんじゃないの？**

**Q：このエピソードが訴えていることは？**

**Q：しかし本当にこの様な方法で教訓を忘れた人類を罰することは適切であろうか？他の方法はなかったのだろうか？**

＜参考資料＞



